

令和元年度 かいぼりの結果を報告します

東京都では、都立公園の池の水質改善及び生態系の回復を目指して「かいぼり」を実施しています。令和元年度は、13か所の池で「かいぼり」を行い、水質と生物のモニタリング調査を行いましたので、結果概要をお知らせいたします。

また、生物捕獲は、都民の皆様からボランティア募集し、都民協働で実施しました。ボランティアの皆様のご協力により、多くの在来種^{※1}を保護することができました。

【かいぼり実施概要】

① 実施池：以下の8公園13池で実施しました。

猿江恩賜公園（上池・下池）、水元公園（睡蓮池・散策池）、光が丘公園（バードサンクチュアリ池）、府中の森公園（庭園東池・庭園西池）、小山田緑地（上池・下池）、野川公園（ひょうたん池・かがみ池）、武蔵野の森公園（修景池）、神代植物公園（水生植物園池）

②実施項目

排水：生物捕獲作業に適した水位に排水しました。

生物捕獲：水生動物を捕獲した後、在来種と外来種^{※2}に選別して、在来種保護のため外来種は駆除しました。

飼養：池に水を戻し、再放流するまでの間、在来種を水槽などで保護しました。

泥土除去：生物捕獲作業後に排水し、水質悪化の原因の一つである底泥を除去しました。

天日干し：水質悪化の原因の一つである底泥を改善するため干しました。

復水・再放流：井戸水、雨水などで元の水位に戻し、飼養していた在来種を放流しました。



生物捕獲



【モニタリング調査実施概要】

モニタリング調査は、かいぼり後の池の水質の変化と生物の状況を確認し、今後の都立公園池水質改善事業の進め方を検討するための基礎データとすることを目的に行いました。各調査は今後も、継続実施する予定です。

① 水質

かいぼり前（令和元年8月）、池に水を戻した後（令和2年2月下旬～3月上旬）、夏季（令和2年8月上旬）に池の水を採水し、9項目を調査しました。（池の水質は、一般的に冬季が良好で夏季は悪化する傾向があります。）

②生物（動物）

かいぼり時は排水後に捕獲した種を記録し、個体数をカウントしました。モニタリング調査は、かいぼり前後に通常の水位でたも網・カゴ網などによる捕獲及び目視により、種を記録し、個体数をカウントしました。

（かいぼり時調査は全数捕獲、モニタリング調査はサンプリング調査）

※1 在来種：ある地域において、従来から生育・生息している生物のこと

※2 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと



生物調査